

会 議 議 事 録

						記録者 鈴木純司
供 覧	教育長	教育部長	次長	課長	課長補佐・GL	グループ員
件 名	令和5年度 第1回 歴史民俗資料館運営審議会議事録					
日 時	令和6年1月26日(金) 午前10時00分～午前11時30分					
場 所	龍ヶ崎市歴史民俗資料館 2階 多目的室					
主催者	教育委員会 文化・生涯学習課					
出席者	<p>【委 員】酒入 陽子 委員, 堤 利明 委員, 雑賀 史 委員, 秋山 卓也 委員, 小野 威人 委員, 由波 俊幸 委員, 佐藤 正好 委員, 飯島 進 委員, 塚本 裕 委員, 沼田 公美子 委員</p> <p>【事務局】大古教育長, 国松課長, 清水課長補佐, 油原課長補佐, 由利係長, 田中副主幹, 記録者</p>					
内 容	<p>1 開 会 2 教育長あいさつ 3 委員紹介 4 事務局紹介 5 委員長/副委員長選出 6 委員長あいさつ 7 議 事 ・議案第1号 令和5年度歴史民俗資料館事業報告について ・議案第2号 令和6年度歴史民俗資料館事業計画(案)について ・議案第3号 中期事業計画の進捗状況について 8 閉 会</p>					
事務局 (油原)	(開会)					
教育長	(あいさつ)					
事務局 (油原)	<p>(委員の紹介) (事務局紹介) (委員長・副委員長の選出) 委員長、副委員長は委員の皆様の互選となっておりますが、候補者について事務局から推薦させていただいてよろしいでしょうか。</p>					
委員	(各委員「異議なし」)					

事務局 (油原)	それでは委員長に酒入委員を、副委員長に堤委員をと考えますが、いかがでしょうか。
委員	(各委員「異議なし」)
事務局 (油原)	委員長に酒入委員、副委員長に堤委員を選出。
委員長	(あいさつ) 規則により委員長が議長となり、議事進行。
議長	委員10名全員が出席により会議の成立を宣言。
議長	議事録署名人として酒入委員、飯島委員を指名。
委員	(各委員「異議なし」)
議長	議案第1号「令和5年度歴史民俗資料館事業報告について」事務局の説明を願います。
事務局 (油原)	(資料に基づき説明)
議長	ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。
沼田委員	歴史散歩について、馴馬台コミュニティセンター等からの要望があり行っていると思います。コミュニティセンターはこの時期に来年度の事業を計画しています。こちらからこういう事業が出来ますよというアピールは行わないのでしょうか。どちらかというところから依頼があったものを受けているように感じます。 市の出前講座でも似た講座を拝見したのですが、年配の方たちはじっと座って講話を聞くよりも実際に現場を散策して、その中で説明を聞くようなものを求めていると思うので、出前講座にもこのような企画の案内を入れたらどうでしょうか。
議長	今年度の事業報告に対する要望やご意見と来年度の事業に対する提案の2つの内容があります。議案は今年度に行った事について、こうしてほしかった、あるいはこういう方法はなかったかということをおうかがいして事務局の方から回答してもらおう、ということではいかがでしょうか。来年度の事につきましては、次の事業計画のところでお話させていただきます。
沼田委員	歴史散歩について、資料館単独で行うというより、共催している相手側の方からの申し出があって行っているようですが、いかがですか。
事務局 (油原)	以前は単独で開催していました。屋外を散策する事業ですので、参加者には保険に加入していただく必要があります。保険には団体保険と個別保険がありまして、団体保険は参加者が30人以上で掛金が2,000円程度です。ところが参加人数が集まらなると個別保険となり一人当たりの掛金が500円になってしまいます。保険の掛け方や掛金などのリスク回避を含めて、単独での開催は見送っているところです。
沼田委員	コミュニティセンター側も資料館側も事業の相手を探しているようなので、歴史散歩等の事業が上手くマッチングできれば良いかと思います。
事務局 (油原)	元々歴史散歩の講師を務めることが出来る職員は多くいません。またイベントや教室等は土日に重なることが多いため、積極的に外に出せる状況にはありません。この他にも学校から出前講座の依頼などあるのですが、同じような理由で、限定的・消極的な対応

	<p>になってしまいます。相手の事業のサポートという形で、できる範囲で協力させていただきたいと考えています。</p>
議長	<p>事務局としては、人数や予算の問題もあるわけですが、せっかく事業を行うのであれば多くの人に参加してくれることが望ましいので、広報や情報共有を行って、効率良く事業を進めていけば良いのでは、ということよろしいでしょうか。</p>
事務局 (油原)	<p>先ほどの話と前後しますが、土日には祭礼調査等もあり、人数的に難しいところがあるということもご理解いただきたいと存じます。</p>
議長	<p>すべての事業を行うことは無理だと思いますので、その中でも取捨選択をしながら行っていく必要があると思いながら聞いていました。</p>
塚本委員	<p>普及事業と体験学習で中止になった行事が2つあります。 とんび凧作りについては、希望者が2名しかいなかったということですが、もうちょっとPRすれば人数は増えるのではないかと思います。とんび凧は私も子どものころ揚げていましたので、絶やしてはいけないと思います。 駄菓子屋については、ボランティア団体の協力が得られなかったということでしたが、その理由とどういう団体にお声かけをしているのかをお聞きしたいです。私は地元のライオンズクラブに入っております。ライオンズクラブとロータリークラブはそれぞれ2団体計4団体が龍ヶ崎にあります。これはもう奉仕団体ということです。ふれあい広場にも私共ライオンズクラブで色々協賛をさせていただいております。今現在ではふれあい広場で品物を出すという形で協力していますが、ライオンズクラブの人数で駄菓子屋をやるとか、そういうことも考えられないでしょうか。わたしも子どものころから駄菓子屋とかそういう物は大好きだったので、これもやっぱり途絶えさせてはいけない文化なのではないかと考えています。子どもたちも喜ぶと思います。以前は沼田委員が色々ご努力されていたと思いますが、また復活させていくことができれば良いなと思っております。 そういうわけでただ「協力が得られなかったから中止にした」というだけではなくて、どういう理由で協力が得られなかったのか、協力を得るためにはどうしたら良いのか、ということをお聞きしたくて質問させていただきました。</p>
事務局 (油原)	<p>資料館ボランティアに協力をお願いしていましたが、会員が元々30人以上いましたが、今、実際に活動できるのは17、8人くらいになってしまいました。 ふれあい広場の時には、ボランティアさんは文化会館側で自分たちの作品を販売し、資料館では機織りの体験指導を行っていただいています。その他に、屋外の商家を模した建物に、駄菓子屋を開店していただいていたのですが、ボランティアの方から「人数がとても少なくなってしまって駄菓子屋には人員をさけないので難しい」と申し出がありました。 駄菓子の購入・販売につきましては、公費で職員が行うというわけにはいきませんので、ボランティアさんに物品の購入から陳列販売までやって頂いていました。売れ残った場合は、職員が購入するなどして、赤字は出さないようにしておりました。 塚本委員がおっしゃいましたように、ライオンズクラブやロータリークラブにあそこの場所を使っただいて、それこそ沼田委員に「猫の手(駄菓子販売のボランティア)」を復活してもらうのが一番早いかもしれませんが、そういう形であそこを使っただきながらふれあい広場に花を添えるような活動をしていただければ、非常に助かります。 品物を購入する金銭の取り扱い、売上金の取り扱い等が難しいということと、ボランティアの人数が少ないのでそちらのほうに出られないということがありましたので、今回は中止とさせていただきます。</p>
塚本委員	<p>このふれあい広場は社会福祉協議会の主催ということですよ。社会福祉協議会から毎年ふれあい広場のときにはライオンズクラブに対して「協力をお願いします」という文書が来ています。その中に、「こういうことをやりたいので、ご協力いただけますか」という内容を流してもらってもいいのではないかと思います。</p>

議長	私から質問です。ここで言う「ボランティア」とは「資料館のボランティア」という理解でよろしいでしょうか。資料館が募集しているボランティアの人数が減っているということでもよろしいでしょうか。
事務局 (油原)	はい。「資料館ボランティア」は、草木染めや機織りがお好きな方が、それを楽しみながら、当館で行う体験学習があるときは指導や講師のサポートをお願いしています。 また、小学校見学でも、ボランティアさんの指導で「綿繰り」や「裂き織り」の実際の体験を行えるということで好評でして、市内は全11小学校の3年生がこの時期に来館しています。市外の学校にはPRしていませんが、それでも多くの学校から申し出があります。このような事業は、ボランティアさんの活動が大事になっています。いずれにしましても、ボランティアの育成は一つの課題となっております。
議長	ボランティアの人数が減っているということは、おそらく日本全国で問題になっていることだと思います。その中で当資料館は様々な事業を行っているほうだと思います。それが苦しくなってきたということであれば、先ほど塚本委員からありましたように、他のボランティアとも協力していくということもありえるかと思いました。今後も事業というものは増えていくものですから、大変だと思いますが、より良い形をめざしてほしいです。
由波委員	『映像アーカイブによる街づくり』について質問します。この事業は現在も行われている事業でしょうか。また、市とこの事業との関わり合いはどのようなもののでしょうか。最後に、上映会というのは定期的に行われているのかをお聞きしたいと思います。
事務局 (油原)	平成28・29年度の市の補助事業で、市民の方から8mmフィルムを集めてデジタル化して、DVDに編集するという事業を行いました。事業中に編集したDVDを様々な施設で上映していました。この事業で作成したDVDを8・9・10月の第一土曜日に上映しました。新しい資料としてフィルムや映像を集めたものではございません。
小野委員	これは質問ではなく、意見ということでお願いします。1年間目まぐるしく企画展や収蔵品展を行われていて、ご苦勞が推察されます。私が似たような企画を考えたときは、一つの企画で2・3か月かかったと思います。この後で令和6年度の活動計画についても協議されると思いますが、令和7年度の事業に関しましては、もう少し事業を精選して、インターバルを入れたほうが良いと思います。逆に言いますと現在の事業数ではPRもままならないと思いますので、インターバルを入れた分はPR活動に注力するということです。 市や資料館の労力の削減ということで意見を述べさせていただきました。
事務局 (油原)	ありがとうございます。以降の事業計画や館の運営の参考にさせていただきます。
秋山委員	学校関係者の立場から、小学生の校外学習や中学生の職場体験を受け入れていただいていることに感謝しております。私は牛久市に住んでいて、牛久にはこのような施設がないので、うらやましく思っています。「れきみんシアター」について、参加状況や実施状況を教えていただきたいです。
事務局 (油原)	この事業は学校が毎週土曜日に休みとなった平成10年代に子どもの居場所づくりの事業としてはじめての事業で、毎週土曜日の11時から『まんが日本昔ばなし』等のビデオを上映しています。参加人数は多いときは10名くらい、少ないときは全く来ないこともあります。
堤委員	「松田正平と川北英司の作品展」は、私はつくば市在住ですが2回見に来ました。とてもレベルが高い人の絵を鑑賞することができてうれしかったです。こういう展示の情報をつくばの美術館で得ているのですが、そういう所にも情報を流しているのでしょうか。全部で1,346人の来場者ということで、同じくらいのレベルの作品展であれば、つくばの美術館でも同じくらいの来場者となると思います。私も自分でグループに所属して絵を描いていますが、そのグループ展を牛久の生涯学習センターでやると100人の来場者があ

	ります。ですから、見る機会があればもっと来場者は増えると思いますので、PR しないともったいないと思います。前年度の廣津先生の展示のようによい展示がありますので、次年度も楽しみにしています。
事務局 (油原)	広報につきましては、市のプレスリリースを利用し報道機関等に通知しています。また、ホームページや SNS に掲載、チラシ等は市内のコミュニティセンターや学校に配布することで宣伝をしています。なるべく予算をかけずに展示の PR をしていこうと考えております。
議長	多くの意見、質問等ありがとうございました。他にご意見等がないようでしたら、議案第1号「令和5年度歴史民俗資料館事業報告について」、ご異議はございませんでしょうか。
委員	(各委員「異議なし」)
議長	ありがとうございます。異議なしと認め、議案第1号「令和5年歴史民俗資料館事業報告について」を可決いたします。続きまして、議案第2号「令和6年度歴史民俗資料館事業計画(案)について」、事務局の説明をお願いします。
事務局 (油原)	(資料に基づき説明)
議長	ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。
沼田委員	私は資料館主催ではない別のとんび凧教室に参加したことがあります。とんび凧作りは大人でも難しいです。その時教えてくださった方も年配の人だったので、その世代でこういう事が好きな方は来てくれると思いますが、若い人たちも、そんなに器用な人ばかりではないので、例えば絵を描くだけのような簡単な内容にするなどして、小学生や親子連れの人たちを入りやすくしたほうが良いと思います。あるいは中学生や高校生に協力してもらうとかしないと、また募集しても本当にやりたい人が集まるかわからないと思います。
事務局 (油原)	<p>昨年の秋にサプラ(イトーヨーカドー)駐車場でイベントがありました。この教室の打合せで伺ったところ、午前中で体験の予定人数に達し、後片付けしているところでした。作る時間などを考慮しても時間が早いなどと思い、凧の会の方に伺ったところ、絵付け・色付けだけを行うような形にして、しかも無料で行ったとのことでした。</p> <p>資料館のとんび凧教室では、材料費1,000円を徴収しています。龍ヶ崎とんび凧は、市民遺産に認定されており、龍ヶ崎の名がつく唯一の民具でもありますので、ぜひ末永く残していきたいと考えております。もう一度、凧の会の方と教室のやり方を協議しながら、この事業を残していくことを検討していきたいと考えています。</p>
飯島委員	<p>昨年9月にサプラの駐車場で観光物産協会が主催して「まいりゅう祭り」を開催しました。その中でとんび凧作成体験を行いました。その際は、観光物産協会の予算から3万円で1枚1,000円の凧を30枚購入しました。それに絵(版木で刷られた線)があり、いわゆる塗り絵のような形で参加者の方には色付けをしていただきました。人気があって午前中で早々に30枚が無くなり、さらに10枚追加で購入して、皆さんに体験していただいたというのがその事業の経緯です。</p> <p>また、観光物産協会では以前牛久沼水辺公園で、とんび凧揚げ大会を開催していました。これについて来年度はまた復活させたいと考えております。資料館でも市民がとんび凧に関わる機会を増やしていただきたいと思います。</p>
議長	とても大切な事業だということが、伝わってきました。それでは、他に質問がないようでしたら、決議に移ります。議案第2号「令和6年度歴史民俗資料館事業計画(案)について」、ご異議ございませんでしょうか。

委員	(各委員「異議なし」)
議長	ありがとうございます。それでは異議なしと認め、議案第2号「令和6年度歴史民俗資料館事業計画(案)について」を可決いたします。続きまして議案第3号「中期事業計画の進捗状況について」、事務局の説明をお願いします。
事務局 (油原)	(資料に基づき説明)
議長	ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。
飯島委員	スタンプラリーにつきまして、昨年度に中期事業計画にある小学生向けの郷土学習シートでお話をいただきました。市観光物産協会として、今年を含めて3年計画で協力させていただいています。来年、再来年も同じ形での事業を計画しておりますので、ご協力お願いします。なお、令和5年度のスタンプラリーは、1月18日より開催しており、LINE等で広報しております。また、小学校、中学校にパンフレットやポスターを置いて周知を図っています。2月29日まで開催しています。多くの方に参加して欲しいので、皆さん広報をお願いいたします。
議長	その他にご意見・ご質問等がありましたらお願いします。
飯島委員	先ほど資料館ボランティアが集まらない、少なくなってしまった経緯についてお聞きしましたが、塚本委員からもありましたライオンズクラブさんのように、いわゆるボランティア団体は多くありますので、そういった所にお声がけをすればよいと思います。協力できる方は多くいると思いますので、うまくPRして募集してほしいです。
議長	様々な分野の方が集まる機会ですので、色々なご意見をお伺いしました。他に質問、ご意見がないようであれば決議に移ります。 それでは議案第3号「中期事業計画の進捗状況について」、ご異議ありませんか。
委員	(各委員「異議なし」)
議長	ありがとうございます。それでは異議なしと認め、議案第3号「中期事業計画の進捗状況について」を可決いたします。 本日の議案は以上です。議事進行にご協力いただきましてありがとうございました。
事務局 (油原)	(閉会)
	令和6年1月26日に開催された会議の内容については、上記のとおり相違ありません。 令和 年 月 日 議事録署名人 議事録署名人